

議決権行使レポート

証券コード 6298

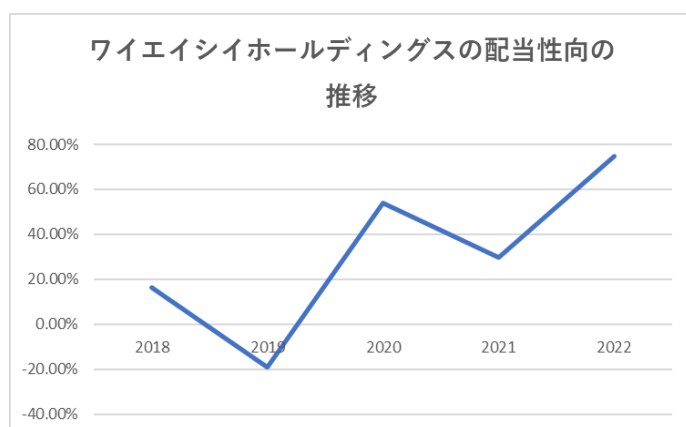
会社名 ワイエイシイホールディングス

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分の件	○		
第2号議案 取締役8名選任の件			
百瀬 武文 氏	○		
伊藤 利彦 氏	○		
大倉 章裕 氏	○		
畠山 督 氏	○		
西坂 昌伯 氏	○		
木船 常康 氏	○		
森林 育代 氏	○		
奥村 和仁 氏			○
第3号議案 監査役1名選任の件			
高田 直規 氏	○		
第4号議案 補欠監査役1名選任の件			
石田 茂 氏	○		
第5号議案 剰余金処分の件 (株主提案)		○	

上記の推奨をした理由

**第一号議案**

第1号議案について、下にある過去5年間のワイエイシイホールディングスの配当性向の推移のグラフを見ればわかる通り配当性向の高低差が年ごとに激しいことがわかる。したがってこの企業の配当性向は不安定だと判断したが、株主総会参考書類にて「当社は配当性向30%を目安とした利益の還元を安定的に実施すべきものと考えております。」と記してあり、創立50周年の記念配当を含めて配当性向30%を目指すことがわかった。このパーセンテージは一般的な数字であるためマイナスになるような年もあったことも加味して30%は良い数字であると判断し賛成した。また、50周年記念配当を含めるとそれよりも大幅に高い配当性向になることが予想される。以下のページにグラフが示してある。



## 第2号議案

下にグラフが示してあるが、売上高は2019年以降低空飛行で横ばいである。しかし[業績ハイライト | 業績・財務 | 投資家情報 | ワイエシイホールディングス株式会社 \(vac.co.jp\)](#) を参照すると営業利益、経常利益、親会社に帰属する当期純利益、一株当たり当期純利益は2019年以降回復傾向にあり、一時の営業不振からは抜け出しつつあると判断した。

まず、百瀬氏について。創業当初から当社をけん引してきた実績と経験を鑑みて賛成とする。

次に伊藤氏について。先端技術を生かして製造機械や各種機器を製造する当社にとってメカトロニクス関連事業に関する知識や経験を多く持つ伊藤氏は2006年から当社にかかわっており、当社の発展に必要不可欠であると判断し、賛成とする。

次に大倉氏について。工業計器ならびに制御通信装置等関連事業に関する豊富な知識や経験を持ち、2020年の代表取締役就任後経営状況が回復しつつあることを鑑み、賛成とする。

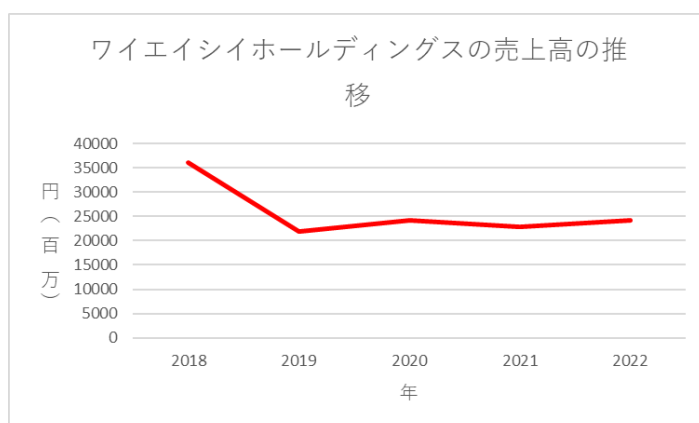
次に畠山氏について。金融業界に関する知識を有する畠山氏も当社にとって貴重な人材であり賛成とする。

西坂氏について。2018年に環境管理責任者に就任した後経営の悪化と回復を経験し、この後もその経験を生かして努めてほしいと考え、賛成とする。

木船氏について。会社経営者として7社にかかわった経験を生かして当社に貢献してほしいという思いを込めて賛成とする。

森林氏について。NPO法人を設立したり女性や子育てに寄り添うなど、当社のダイバーシティ推進や地域貢献等の充実に大きく寄与できる存在とみなし、賛成する。

奥村氏について。財務内容に関するアドバイスが出せる数少ない役員の一ではあるが他で保管しうると考えられる。ほかの株主に判断をゆだねることとする。



### 第3号議案

高田氏の金融機関と商社に勤務された豊富な経験と専門的見地が、当社の監査体制強化につながると判断できるため、賛成とする。

### 第4号議案

石田氏の弁護士としての経験を生かした判断には信頼がおけると判断し賛成する。

### 第5号議案

株主提案の案で無効票の人々がすべて株主提案の案に同調していたというような意味が含まれており、それには無理があると考えます。また企業側の配当性向を30%に安定させる方針には異論はなく、今年度の50周年での配当も含めれば配当性向は70%を超えることからこのままで十分と判断しました。